

令和2年12月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

12月の景況DI値は、僅かに好転したが、全国的な新型コロナウイルスの「第3波」感染拡大の中、依然として低い水準で停滞した状況が続いている。

国や地域によるGoToキャンペーン等の景気刺激策により、売上が回復傾向にあった業種においても、GoToトラベルの一時停止等により、需要は大きく落ち込み、厳しい年末となった。

新型コロナウイルスの影響が長引き、経済活動の縮小化傾向が強まる中で、業種を問わず今後の受注や売上は減少すると見込んでおり、先行きに対する不安感は益々増大している。

山口県の主要指標 DI 値 (令和2年12月末現在)

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 1.3% 悪化： 52.5% DI 値： ▲51.2% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 8.8% 減少： 55.0% DI 値： ▲46.2% ポイント





収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)


前年同月比は、好転： 6.3% 悪化： 52.5% DI 値： ▲46.2% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和2年12月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	---	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲55.6	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲33.3	▲37.5	0.0	▲45.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業
▲40.0	▲75.0	▲50.0	▲72.7	▲36.4	▲42.9	▲100.0	▲55.3
							

全 体
▲51.2


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	12月月は地方発送が増加した。組合員間で、取扱品目、店の形態によって新型コロナウイルスの影響では大きな差がある。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	下旬以降、新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、年明け以降の売上に影響があると思われる。	パン・菓子製造業 下関市
	11月店舗売上の合計は対前年同月比+27.5%と10月に引き続いて大幅に伸びた。12月は12/24時点で対前年同月比+25%程度と引き続き順調に推移しているが、GoToキャンペーンの一次停止により売上の伸びが鈍化傾向である。萩市独自のお買い物クーポンもほぼ予算消化した模様で、今後のクーポンによる売上は期待できない。（売上に占めるクーポン比率は約20%）。12/27~31の年末セールは一年で一番売上の高い期間であるが、新型コロナによる帰省控えもあり例年のような売上は望めない状況。	水産食料品製造業 萩市
	組合員のちりめん、いりこ漁がシーズンオフとなった。年末の産直の注文は、少し上向いている。観光関連業者への売上は12月途中のGoToトラベルの一時停止により、また減少傾向。	水産食料品製造業 長門市
	コロナウイルスがなかなか落ち着かず、ベトナム人技能実習生の出入国が難しい状況は変わっていない。その為、いつ入国してくるかわからないので各社の人員確保もどうしたらいいのか悩ましい状況。	水産食料品製造業 下関市
	12月の売上減少幅は、対前年同月比で75%前後まで戻りつつある。同じうに業界でも量販向けや百貨店向け等業態が異なるので一概に判断できかねるが、業態によれば、原料事情・需要の低迷等による落ち込みから100%の回復には届かないのが現状。GoToトラベル・GoToEatの中止によるお土産市場の落ち幅はとも回復出来ない。年末商戦は、ほぼ前年並みに戻りつつあるも、今後の時短営業・イベント（催事）中止による売上減少は昨年同様影響があることは否めない。	
	新型コロナウイルスの蔓延に伴いGoToトラベルが中止となるなど、自粛ムードの広がりでも各種イベントが中止となり、経済活動の厳しい状況が続いている。今後は、ソーシャルディスタンスに基づく経営活動を遂行してための中企業向けの支援対策を早急に充実させることが必要となる。また、ウシカの多数飛来による被害の拡大により、稲の作況指数は、全国最低となった。新型コロナだけでなく、大陸から飛来する害虫対策も必要となる。	精穀・製粉業

繊維工業	新型コロナウイルスの影響が出て来ている。展示受注会が開催出来ていない。	外衣・シャツ製造業 山口市
	技能実習生の入国が始まっているが、入国後の14日間の隔離等を考えるとリスクが高すぎるため、方法を検討中。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	例年の12月は、個人宅の年末までに仕上げる比較的小規模な仕事があるが、今年は例年と違いそれも無く、見積さえも無い状況であった。	製材業・木製品製造業 岩国市
	組合員の12月売上は対前年同月比で平均15%程度の減少。業界の景気低迷が続き、経営が厳しい中、雇用維持に努めている状況。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	印刷業界における受注状況はGoToトラベル、GoToEatキャンペーン等の政策により、チラシ、チケット等の受注が発生することで次第に改善傾向にあったが、冬場を迎えて新型コロナウイルス第3波の感染拡大により、主に都市部においてキャンペーンが停止されたことで、再度、景気への悪影響が懸念される事態となっている。企業自体の自主努力に加えて、国、自治体等の更なる支援策が求められる。	印刷 下関市
	令和2年の年末は慌ただしくなく静かに時が過ぎた。令和3年に向けた受注物も少なく、新型コロナウイルスの影響等、先行きが不安である。	印刷 山口市
窯業・土石製品	出荷量は、 (令和元年12月) 骨材 111%、路盤材 74%、再生材 81% ↓ (令和2年12月) 骨材 83%、路盤材 75%、再生材 138%	砕石製造業
	出荷量は、前月比89%、前年同月比85%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	昨年度は特需工事が複数あったため、今年度は売上高減少となっている。	生コンクリート製造業 周南市
	令和2年は新型コロナウイルスとの闘いであったが、幸いなことに当組合は重大なダメージは無かったようだ。令和3年はどうなるか分からないが、既に仕事の依頼が来ているので、誠心誠意対応して行きたいと思う。	石工品製造業
	新型コロナウイルス感染症の第3波が拡大し、東京をはじめ全国でGoToトラベルキャンペーンが一時停止となった。12月中旬から下旬に向けて大きく落ち込み、前年同月並みの売上にとどまった。百貨店や大都市小売店、ギフト関連の受注(卸販売)は若干回復したものの、対前年同月比70%程度となっている。萩	陶磁器・同関連 製品製造業

	焼協同組合のHPとECサイトを開設し、出品数は少ないものの、これから12事業所が順次アップし、180品以上の掲載数を予定している。	
一般機器	新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生の面接が出来ず、引き続きリモート面接に変更し対応している。	一般機械器具製造業 岩国市
	12月は、全体的に仕事量が少ない例年通りの月となった。コロナ禍、仕事量は落ち込まず事業継続できていたが、12月に入り、一部の組合員企業で仕事量不足であるとの声が聞こえている。新型コロナウイルス感染症が続く中、顧客も設備投資の判断がつかない模様で、先行きが不安である。	一般機械器具製造業 下松市
	山口県内の新型コロナウイルス感染者が増加しており、依然として衰えを見せていない。建設関連は新型コロナの影響で受注待ちの状況。中国と取引のある組合員は順調な稼働をしている。自動車金型もメーカーが様子を検討しているところで、発注が遅れている。新型コロナの変異種も確認されており、予断は許せない状況。	一般機械器具製造業 防府市
	新型コロナウイルスの蔓延による若干の影響はあるが、全体的に事業確保は出来ている。また、コロナ後を見据え実習生の増員を予定している企業もある。業種を問わず、人手不足感が顕著で、残業が増えてきている。なお、レジデンストラックが継続しているため、2週間の隔離、公共交通機関の不利用等不便な状況ではあるが、11月から随時、技能実習生の入国も始まり正常な状況に近づきつつある。但し、新型コロナの蔓延により規制が強化されることも予想され予断を許さない。一方、帰国についても徐々に始まっているため、特定活動への在留延長も徐々に厳しくなっており、企業によっては早期入国を希望してきている。	一般機械器具製造業 宇部市
企業の設備投資減少に伴う減産によって、売上が昨年の3割減の組合員もある。回復のペースが鈍く、再び先行き不透明の状況にある。		
輸送機器	鉄道車両関係の受注は概ね良好だが、令和3年以降の売上高の減少が見込まれる。半導体は当初予定より多少受注が減少している。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業になっている。新型コロナウイルスの感染拡大による取引各社の操業度の落ち込みにより、受注の落ち込みがある。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	12月分の倉庫売上げは昨年に比しやや増加となった。在庫数にあまり変動はないが、入出庫が多かった為、荷役料が増加。	乾物卸売業

	新型コロナウイルスの影響は大きく、繁忙期にもかかわらず、昨年と比べて奮わずにいる。	各種商品卸売業
	コロナ禍の関係で、総合雑貨卸では、マスク、除菌剤等の売上増加により収益が好転。	各種商品卸売業
小売業	11月に大手化粧品メーカーのサイトで、メーカー自体による値引き販売があり話題となった。今まではブランド価値が下がるため行われなかった事でもあり、販売店や組合の利益も下がってきている状況に思う。それだけでなく、12月の売上げが下がったお店は多い。	化粧品小売業
	「経営継続補助金」の需要はあるものの、令和2年産米の不良を受け、顧客農家の機械の購入意欲が著しく低下している。来春から夏頃まで、この傾向は続くと思われる。	農業用機械器具小売業
	売上高はやや減少している。年末商戦で、冷蔵庫、洗濯機の買い替え等があり、前年同月比で95%。	機械器具小売業
	11月に発生した市内クラスターの影響は想像以上に長引き、歳末商戦に重なり、小売業においては、予定売上には遠く及ばず、文字通りの大打撃。隣接都市の休業要請により人々の暮らしの不安が増加した。加えて国のGoTo一時停止が拍車をかけ、生活者は非常事態宣言当時と同レベルに警戒を強め、街へ出かける人が激減。商店街内外では飲食店を中心に数件の店が閉店、廃業、休業となった。正月明けからシャッターが上がらない店もあると予想され、極めて深刻な状況が続いている。	各種商品小売業 岩国市
	商店街への来街者は、例年12月に開催しているツリー祭の「集中イベント」が中止となったため駐車台数と共に減少している。忘年会等の飲み会参加の夜間来街者も減少しており駐車場売上は大幅減となった。組合員への共通駐車サービス券の販売も減少。売上は前年同月比50%の減少。	各種商品小売業 周南市
	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、お客様の数が減少していると聞いている。しかし、月初めのプレミアム商品券の販売は30分で完売し追加の問い合わせが数多くあり、大好評であった。大歳の市ポイント祭りでポイント交換も中旬に開催し、3日間で終了した。両方の商品券の使用期限である年末年始にかけて、お買い物をして頂けると期待している。	各種商品小売業 下関市
商店街	まちづくりの方向性が未だ不透明な点や新型コロナウイルスの収束が見えず、重苦しい雰囲気が漂っている。	宇部市

	12月は補助金を使つての商品券販売を実施したおかげで、商店街に多少の人出があり、各店舗も何らかの形で潤ったように思う。商品券は非常に好評で、完売した後も商品券を求めたいという声が多く、食料品、衣料、時計等、幅広く利用され、この人出が年明けも続くよう願うばかりである。	萩市
サービス業	新型コロナウイルス第3波の感染が広がりを見せており、クラスターが発生した地域は大幅な売上ダウンに見舞われそうだが、美容業界の書き入れ時の12月に目立った影響はないように思われる。	美容業
	新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、依然として厳しい状況にある。	理容業
	国が、「コロナ禍において自動車整備業は生活に不可欠な事業である」と位置づけたことで、整備事業をストップしなければならぬ事態に至らなかったため、車検等の実績は大きく落ち込むこともなく、殆どの整備事業者はコロナ禍の影響を最小にとどめることができた。しかし、新車販売は新型コロナの影響で大きく落ち込んだことから、今後、整備事業者にとっては、この販売減少の影響がボディーブローのように効いてくることが予想され、今から備える必要がある。	自動車整備業
	新型コロナウイルスの影響下にある。まだ回復はしておらず、悪化して横ばい。	スポーツ・健康教授業
	12月も引き続き厳しい商況となった。12月は昨年同月でプラスになったという一部事業者もあったが、これまでのマイナスを埋めるには程遠い。クリーニングで受注するものはスーツやワイシャツなどのビジネスウェアが主力商品だが、それがコロナ禍により厳しくなった今、また別のアイテムで利益を出す道を見なければならぬように思う。	普通洗濯業
	稼ぎ時の12月が通常月の売上を下回る状況となり、厳しい年末となった。1日も早いコロナの終息を切に願う。	飲食業
	新型コロナウイルスの感染拡大及び、GoTo トラベルの一時停止により、JR券の売上は11月80%の減少から12月は90%の減少となった。年末年始の移動自粛も影響している。	旅行業
	対前年同月比で宿泊人員は92.5%、売上94.0%。山口県プレミアム宿泊券及びGoToキャンペーンの効果で回復基調であるが、GoTo トラベルキャンペーンが一時中止となり、キャンセルが多く発生したためマイナスとなった。会議、宴会が全くない状況で、施設の総売上が伸び悩んでいる。	旅館業 山口市

	12/15 発表、GoTo トラベルの全国一斉停止でキャンセルが続出し、新たな予約も全く入らない。	旅館業 下関市
	10月、11月は GoTo キャンペーンで宿泊者入浴は上昇したが、自粛要請等により減少傾向が強まり、12月は厳しい状況が続いた。年末年始も自粛状況下であり宿泊キャンセルが続いている。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請件 116 件（当支部 98 件）、前年同月 152 件（同 134 件）。太陽光発電への申請 11 件（前年 24 件）、オール電化申請 57 件（前年 100 件）。LED 街路灯への切り替え・新設申請 31 件（前年 17 件）であった。	電気工事業
	工事量・受注単価とも更に悪化すると予想されるが、この時期こそ“楽しみながら”乗り越えていきたい。	左官業
	組合員は、年度当初の受注工事に組合員で協力して忙しく仕事をしており、2月末まではこの状態が続く。年末に寒波到来の予報があり、組合員には念のため凍結等に備えて待機してもらったが、心配された程ではなく安心をした。県内の新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、今のところ組合内で感染者は出ていないが、人手不足でもあり、先行きには不安を持っている。業界の従業員の高齢化と人材不足は相変わらず解消できていない。	管工事業
	上関大橋接続部分の段差が生じ約1ヶ月が経過した。現在は渋滞も緩和されたが、未だに大型車の通行は規制されており、住民生活、経済活動に支障が続いている。年末の業務多忙な時期ではあったが、組合では12/15まで臨時渡船の綱取り業務を県より受託し、組合員が交代で対応、奮闘した。新型コロナウイルスが急激に感染拡大しており、今後の景気後退に歯止めがかからず沈鬱な状況となっている。土木建設に関しては、12月末の完成引渡しの工事が終了し、新たに年度末の工事、一部に工期の延長などの案件があるが、土木建築事務所からの発注が、上関大橋の影響により、やや遅延気味となっている。	土木工事業 柳井市
	12月の受注高は、対前年同月 6.4%。今年度の累計は、対前年比 84.4%。	土木工事業 萩市
	土木工事については、ほぼ前年並みで推移。	土木工事業 長門市
	例年、年明けは仕事の確保に苦慮する時期。組合員各社、年初の仕事を確保するために頭を悩ませている。	屋根工事業
	11月以上に低調な動きで、仕事を確保していても小規模物件が多い。今後の見積が少なくなっており、不安を感じている。	鉄骨・鉄筋工事業

運輸業	<p>1 2月に入っても新型コロナウイルスに左右され本格的な輸送体制にならないが、月の後半に輸出がやや活発化。国内向けは横ばいの傾向が強く、結果前年同月比 10%のマイナスとなった。会社経営も次第に下降の度合いが強くなってきつつある。燃料費は 1 円の値下げとなったが、荷動きが悪いため、使用料が少ない。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>組合自体の売上は昨年並みだが、組合の輸送取扱高については未だ 20%程度減少している。欧州を主として新型コロナウイルスは再拡大しており、令和 3 年 1 月以降は更に悪化の見通し。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>1 1月に引き続き製造関係の顧客が上がり調子である。また、年末年始にかけて冷凍食品関係等の荷動きがかなり良くなってきており、山口から関東方面、北海道までも輸送案件がきているようである。生活用品や小物の小売関係についてはあまり荷動きが芳しくない模様。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比 ▲ 5 2.0%（令和 2 年 1 1 月 1 日～令和 2 年 1 2 月 2 0 日分）。1 1 月 1 日～3 0 日分は▲ 4 5.9%、1 2 月 1 日～2 0 日分は▲ 5 9.7%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市，下松市，周南市，防府市の地域。</p> <p>1 1 月分については、周南▲ 4 8.2%，下松▲ 5 5.7%，光▲ 5 5.9%，防府市地区が▲ 3 2.2%で、組合員の全域では▲ 4 7.2%、地区外（員外）▲ 2 6.9%（山口地区早着化）、合計▲ 4 5.9% ▲10,605 千円）。</p> <p>主要燃料である L P G については、C P（通告価格）と為替に連動して変動する。C P が上がり（前月 410.0\$/トンが今月 450.0\$/トン、前年 4500.0\$/トン）、輸送用バンカー C 重油も上がり（前月 340.0\$/トンが今月 371.0\$/トン、前年 580.0\$/トン）。為替は円高（前月 106.27 円/\$ が 105.41 円/\$）。燃料単価は前月プラス 2 円/ℓ (+3.1%) となったが、前年 1 2 月より ▲ 2 円/ℓ (-2.9%)。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しており、人員不足もあって車両の稼働率は下がっている。</p> <p>現金利用の多い個人利用客はもう少し回復しているようだが、法人利用の多い当組合のチケットでは、出張移動や会合などを自粛されている。当地区からもコロナ感染者が少しずつ発生しており、夜間の飲食関係は激減。昨年までは忘年会需要の繁忙時期であったので前年同月比が特別厳しい数字となった。回復時期の目途も立たず、助成金も期待できず、飲食関連事業は事業継続が困難になって来ているように思われる。</p>	一般旅客自動車運送業

	取扱高減少による売上高減少。実態に近いよう新規取り扱いを除外した取扱高の対前年同月比は 78%。	港湾運送業
その他	感染の再拡大受け、先行きが不安だが、ベストを尽くしていきたい。	介護事業